

老健 リハビリ実績

利用者情報 80歳代女性 アルコール性認知症、低栄養 要介護3

通所

経過

2020年冬に栄養失調、意識障害、認知症併発により入院
食思と嚥下機能に低下を認め胃瘻造設する。在宅復帰を目指して当施設に入所
2021年春に自宅復帰され、在宅生活維持目的でデイケア週2回利用開始

目標

本人希望…リハビリを続けたい
家でお父さん（夫）とゆっくり過ごしたい。
ご家族…家でも楽しみ程度に何かを食べさせたい
もう少し歩けるようになって欲しい。

リハビリ

筋力訓練（機械運動や重錘を使用した自主訓練指導）、歩行練習、
高次脳機能訓練、摂食嚥下訓練



FIM : 機能的自立度評価

日常生活動作の自立度を
評価する指標

介入当初 **99** 点 ▶ 現在 **101** 点

※改善項目：移動・社会的交流

	介入当初	現在
言 動	入所中は「夫に会いたい」と寂しがる発言が多く聞かれ、食思はなく、その他の活動に対しても意欲は低く受け身な姿勢	夫と過ごす時間や夫による心理的サポートが増えたことにより、徐々に活動意欲の向上がみられた
ADL 能力 (摂食嚥下)	3食胃瘻 「おやつを口から食べられるようになってほしい」 言語聴覚士：嚥下機能を評価し、ゼリーから摂食練習を開始	楽しみ程度のおやつを摂取可能 ゼリーやアイス等を食べる事ができるようになる 主治医の許可も得て「1食を口から食べる」ことを目標に取り組んでいる
ADL 能力 (歩行距離)	約 30m：施設内車椅子移動自立、自宅内伝い歩き。 「もう少し歩けるようになって欲しい」 足の筋力トレーニング、歩行練習を導入	約 150m：自宅内伝い歩きレベルから歩行器を使用して屋外歩行見守りレベルまで向上 150m 歩けるようになったことで「歩いてお父さんと桜を見に行きたい」など前向きな発言が出る



ご主人の要望



医療法人医誠会 介護老人保健施設
エスペラル



← ホームページはこちら
<https://esp.iseikaihp.com/>



好事例 ポイント

- ・ 自宅復帰できたことで、夫の心理的サポートにより、ご本人の活動意欲が向上した。
- ・ リハビリ会議を通して、言語聴覚士、看護師、夫と協同できたことで、自宅でも安全におやつを食べられるようになった。



機械運動の様子



デイケアでのゼリー摂取をしている様子



屋外歩行練習の様子

